

# 水コン協新ビジョン

# AWSCJビジョン2025-2035

# について

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会／  
企画委員会／委員長（株式会社日水コン／取締役）

種市尚仁



## 1. ビジョン策定の経緯

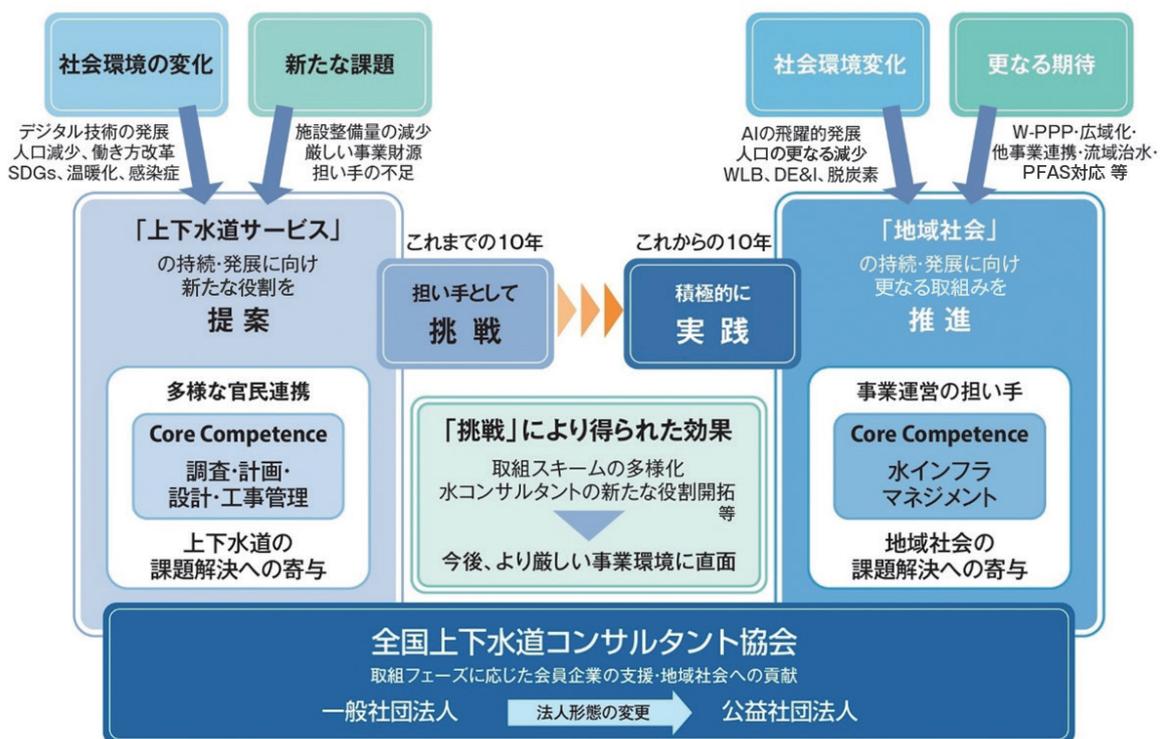
水コン協のビジョンは、社会環境の変化と業界の動向を踏まえ、10年単位で策定してきました。今回は40周年記念事業として新ビジョンを策定することとなりました。ビジョンの策定は企画委員会が中心となり、現ビジョンの下で取り組んできた活動や成果を振り返りつつ、新ビジョンの骨子案を作成しました。これを基に理事会をはじめ、若手会員や各支部と意見交換を行い、コンセプトを固めて執筆にあたりました。

## 2. コンセプトの議論

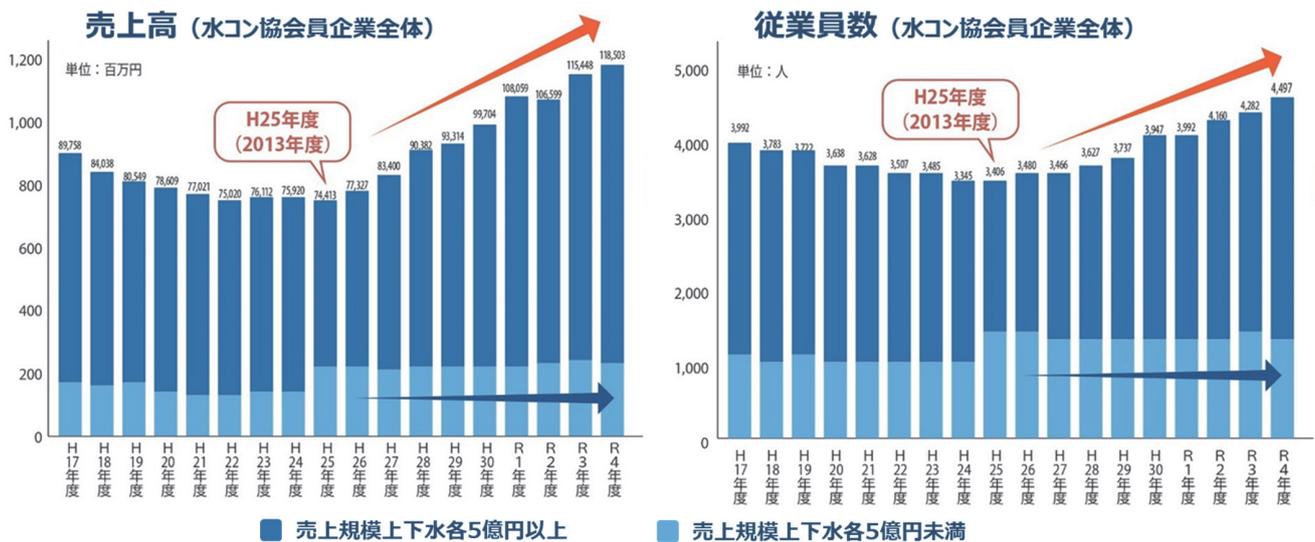
前ビジョンでは、コンセプトとして「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」を掲げていました。その背景には、当時インフラ投資が抑制され、業界として売上や職員数が低迷傾向にあった一方、PPP・PFI等の新たな官民協働の動きが始まった時期であり、水コン

サルタントの新たな役割を積極的に発信し、存在価値を高めていく挑戦の意味が込められていました。このビジョンの下、会員と水コン協の活動の結果、PPP関連事業へのコンサルタントの関与は確実に増加してきました。加えて、東日本大震災以降、インフラの強靱化施策と相まって、水コンサルタント業界の業績や人材も拡大傾向となり、水コンサルタント業の存在意義を高めることができました。

そして次の10年、日々変化する社会環境から未来を見据えたとき、地域社会における水インフラへの期待として「安全・安心」「水環境・水循環」「地方創生」等が挙げられました。また、水コンサルタントには「水に関する専門技術集団」であり、「地域社会の持続・発展を支える担い手」としての役割がますます期待されており、上下水道を主体としつつも関連するインフラと連携したマネジメントが求められる時代と捉えました。そこで新ビジョンでは、「上下水道サービスへの挑戦」から「水インフラマネジメントの実践」へのステージであると宣言し、



図ー1 ビジョンのコンセプト



図ー2 会員企業上下水道部門の売上高と従業員数推移

「地域社会における水インフラマネジメントの実践」をスローガンとして掲げました。

### 3. 水インフラマネジメントの実践

私たち水コンサルタントが目指す「水インフラマネジメント」とは、上下水道インフラを中心に、他の社会インフラと連携・調整を図りながら、水がもたらす恵沢を将来にわたり享受できるように、健全な水循環・良好な水環境を維持するためのマネジメントと捉えています。

こうしたマネジメントを通じて、地域社会の持続に貢献していきます。水インフラマネジメントを実践するために、水コンサルタントが関わる場面はさまざまです。水の専門家・コンサルタントとしての「要素技術」を用い、多様な「関係者」と連携し、広い「視野」でマネジメントすることが求められます。

### 4. 水コンサルタントの使命

水インフラマネジメントの実践に向けて、私たち水コンサルタントの使命を提起しました。

#### (1) 技術の継承

事業体の専門職員が減少する中で、上下水道システムの改築・更新をはじめ、災害復旧対応も含めて継続的に地域に関わる「上下水道システムの専門家」として不可欠な存在となります。そのためにも、上下水道システムの調査・計画・設計といったコア技術を継承し、確固たる専門技術集団であり続けます。

#### (2) 多様な官民連携の実践

ウォーターPPP等、今後拡大する多様な官民連携手法

における事業可能性調査 (FS) やモニタリング、事業グループ内における調査・設計・統括管理等、上下水道を中心とした水インフラの事業運営の中心的役割を果たしてまいります。また、担い手不足や生産性向上の観点から、さまざまな場面で「地域の水コンサルタントの強み」を生かした連携をはじめ、産官学の連携により持続可能な地域社会の発展に寄与してまいります。

#### (3) 技術開発の推進

複雑化・多様化する水インフラの課題を解決するため、柔軟な発想に立ち、複合的な技術開発を進め、技術の習得・開発・活用に積極的に取り組んでまいります。特にAIを含むデジタル社会の急速な発展は、業務のやり方や効率化に大きく寄与すると考えます。

### 5. 水コン協の役割

水コン協は、その取組みを支援するため、次の5つの主要な活動を掲げ、会員企業の支援と地域社会の持続と発展に貢献していきます。

#### (1) 水コンサルタント業界発展に向けた要望・提案活動

- 関連団体等との協議を通じて、上下水道事業の発展と水コンサルタントの地位向上
- 社会貢献活動を通じた市民向けPRの実施
- 各種委員会活動を通じた会員企業への情報発信・共有

#### (2) 人材確保と経営基盤強化支援

- 水コンサルタントが社会的に重要な役割を担い、今後も社会的地位を確立し成長し続ける魅力ある業界であることを継続的に発信
- 会員企業の経営基盤強化や、働き方改革を含めた職



図-3 水インフラマネジメント実践とビジョンの全体イメージ

場環境の改善のための規範を示す

### (3) 災害支援

- 災害時支援体制整備や災害復旧支援等の公益活動への積極的な取組み
- 災害時支援協定（業界団体含む）の締結と円滑な運用に向けた支援者育成の推進や、委託業務の実態調査と課題の整理・対応
- 上下水道一体の災害対応を進めるための検討

### (4) 技術力・品質・倫理向上支援

- 水コンサルタントの信頼性や社会的責任を一層高めていくために、技術講習会や技術情報発信、研究開発等を推進
- 倫理規範の策定やコンプライアンス教育セミナー等の開催

### (5) 会員企業の連携強化・異業種連携支援

- 水コンサルタントが、水インフラマネジメントに関連する業界全体の発展や官民連携の推進をリードしていくための支援を実施
- 「地域に根ざしたコンサル（地域コンサル）」と「全国展開のコンサル（全国コンサル）」が連携するためのプラットフォーム機能について検討

## 6. おわりに

本ビジョンは、企画委員会のメンバーをはじめ、各委員会、支部の皆さま、理事会の皆さまから多くのご意見をいただきながら策定することができました。改めてお礼申し上げます。このビジョンが会員活動の一助となるとともに、次世代の若手会員や水コンサルタント技術者を目指す方々への未来像を示すことになれば幸いです。

### <ビジョン2025-2035 策定委員>

#### 企画委員会

委員長	種市 尚仁	(株) 日水コン
副委員長	増屋 征訓	(株) NJS
委員	鎌田 輝起	オリジナル設計 (株)
委員	高橋 真澄	(株) 東京設計事務所
委員	大石 悟司	中日本建設コンサルタント(株)
委員	星 信太郎	(株) 日水コン
委員	小林 昌毅	(株) 日水コン
委員	牛原 正詞	日本水工設計 (株)
委員	鈴木 淳	日本水工設計 (株)
委員	小保方和彦	パシフィックコンサルタンツ (株)

#### 対外活動委員会

委員長	吉成 大悟	(株) 日水コン
-----	-------	----------